



# PAA21プログラム の運用指針

2020年6月1日

2020年7月27日改訂

2020年12月28日改訂

(株)アグサ野外教育部

## PAA21 学校プログラム 活動再開にあたっての指針

9月から早期活動を再開するにあたり、PAA21 学校プログラムがどのような条件であれば、活動が可能となるかについて、大筋の要件をまとめて参りましたが、本 PAA21 プログラムの運用指針は、令和2年12月3日時点での最新の知見を参考に改訂するものであります。内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室からは、別添の「感染リスクが高まる「5つの場面」」が出ておりますので、これも参考に、感染症対策の取組を進めて行きます。また、新たな情報や知見が得られた場合には、随時、見直しを行います。

### <感染リスクが高まる5つの場面>

- ① 飲酒を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

### <活動再開の要件>

#### ① 学校

- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルを遵守していること。
- ・学校で体育・学校行事・部活などの教育活動が継続していること。
- ・PAA21 学校プログラムの活動時間が3時間以上とれること。
- ・他の団体が運営する体育館の使用規則を遵守すること。
- ・アグサが求める同意書（確認書）を交わすこと。
- ・活動に対しての理解や責任があること。

#### ② アグサ

- ・事前にファシリテーターとの間で契約書を交わすこと。
- ・スタッフの健康状態の管理を徹底し、十分なスタッフが配置できること。
- ・感染防止対策が十分にとられた運営であること。（別紙1参照）
- ・受入団体等に対し、事前に使用する施設や活動における新型コロナウイルス感染予防対策について、協議を行い、周知徹底を図ること。
- ・他の団体が運営する体育館の使用規則を遵守すること。
- ・活動に対しての理解や責任があること。
- ・学校との受注に関する同意書（確認書）を交わすこと。
- ・取り交わす書面に責任の所在を明確にしておくこと。

#### ③ 宿泊

- ・宿泊場所の新型コロナウイルス感染症対策が十分に行われていること。
- ・宿泊場所の利用規則に従うこと。

## □ コロナ対策における活動の注意事項

## (1) 現場スタッフが厳守すること。

- ・実施日の2週間前からの毎日検温実施と体調チェックの報告をする。
- ・実施日から1ヶ月以内の渡航者をスタッフに入れしない。
- ・日頃から、3密を避けた行動をとる。
- ・発熱や体調(味覚、臭覚含む)に変化があった場合はすぐに報告する。
- ・当日、飛沫感染を防ぐ物(マスク、フェイスガード、眼鏡、サングラス等)の着用と手洗い、消毒を義務づける。
- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。

## (2) プログラムの事前準備等(備品、道具含む)

- ・当日、受入団体等から十分な打合せができないため、事前に詳細な聞き取りを行う。
- ・活動時間、プログラム内容等は、新型コロナウイルス感染予防対策を考慮して、受入団体と十分な協議の上、決定すること。  
※閉会式前等の記念撮影(要相談)
- ・体育館の感染予防対策を確認し手配をすること。  
※1施設では感染予防対策が不十分な場合は、活動を分散するため複数の施設を手配する等の相談を行う
- ・トイレ等の多くの生徒が出入りする場所に消毒液(除菌液)を設置する。
- ・生徒に携帯用除菌シートや携帯用消毒液、塩飴などを持たせるようにする。
- ・活動前に使用する備品や道具類の消毒を行う。
- ・使用後は、その都度、消毒を行う。

## (3) ファシリテーターのミーティング

- ・事前の情報共有などは、リモートまたは、録画などの方法で行う。
- ・3密を避けて打合せを行う。
- ・飛沫感染を防ぐ物(マスク、フェイスガード、眼鏡、サングラス等)の着用する。
- ・短時間で終了する。

実施する団体等の情報を共有(リモートまたは、録画)

- ・到着時間、開会式、活動時間、昼食時間、午後の活動時間、活動終了時間、閉会式、出発時間を確認します。  
特に昼食前・午後の活動切替えのタイミング、閉会式は、時間を厳守することはもとより、参加者や引率者等の検温や体調について、詳細を聞き取り、当日、その内容をスタッフと共有する。

## (4) 団体の到着

- ・参加者・引率者の間隔(1~2m程度)あけて降車してもらい、安全確保と誘導をする。
- ・チェックシートの交換及び名簿(体調管理チェックあり)を学校側から受け取る。

## (5) 開会式

- ・学校側の意向により、開会式は、学校主導または、アグサ主導を判断する。
- ・参加者同士の間隔を(1~2m程度)あけて整列する。
- ・参加者や引率者の飛沫感染を防ぐ物(マスク、フェイスガード、眼鏡、サングラス等)の着用を確認する。
- ・トイレは、混雑が予想されるので、密集しないよう状況をみて空いているときに行くように伝える。
- ・感染防止対策3か条を伝える。
  - ① 人に向かってせきやくしゃみをしない
  - ② 大声で話さない
  - ③ 顔をさわらない
- ・引率者と担当ファシリテーターは、短時間のあいさつ程度で終える。  
(事前に詳細情報はファシリテーターに伝わっていること)

## (6) プログラム開始(午前・午後)

- ・安全管理の徹底。
- ・各班・チームの活動場所を広くとって行う。

- ・学校と確認した「プログラムの実施に伴う活動範囲の確認」に沿ったプログラムを行う。
- ・近距離での会話や大声を避けるために隣同士の間隔を(1～2m程度)あけた状態で話す。
- ・使用する備品の使いまわしを避ける。やもえない場合は、都度、消毒を行い使用する。
- ・活動時間は、約30分を目安に長時間活動せず、こまめな休憩(トイレ、水分補給、手洗い・消毒)を取る。
- ・団体との事前協議によっては、チーム数を増やし、少人数で行う。(ファシリテーター増員)または、分散活動を行う

(7)昼食

- ・3密を避けて、お互いに向かい合わず、一定の距離(1～2m)をあけて食事する。
- ・食事の前に必ず手洗い・消毒を行い、食事時の会話は、なるべく避ける。
- ※スタッフ同士の食事やミーティングなども、上記と同様にする。

(8)閉会式と見送り

- ・開会式同様とする。
- ・閉会式を行う場合は、時間をかけずに短時間で終了する。
- ・写真撮影も同様に短時間で終了する。
- ・密集・密接しないように各班や各チーム、時間差で荷物を持ち出発する。
- ・参加者・引率者の間隔(1～2m程度)あけて乗車してもらい、見送りを行う。
- ・使用した道具類は、消毒してから片付ける。

(9)ファシリテーター振返り

- ・3密を避けて、短時間で終わるように振返りを行う。

(10)コロナウイルス対応 大卒活動スケジュール

【コロナ対応活動スケジュール】【目的】まずやってみる1日 ～ クラスの仲間を知るきっかけづくり ～

スケジュール (日帰り)	
10:00	到着 開会式または、指定場所に集合
10:15	オリエンテーション
10:30	PAA21プログラムスタート ※活動は、約 30 分を目安に長時間とならず、こまめな休憩(トイレ、水分補給、手洗い・消毒)を取る。
12:00	昼食(持参弁当)
13:00	PAA21プログラム ※活動は、約 30 分を目安に長時間とならず、こまめな休憩(トイレ、水分補給、手洗い・消毒)を取る。 振り返り(まとめ)
14:30	開会式または、指定場所にて解散 PAA21プログラム終了 バス移動
15:00	出発

※活動時間については、事前に予約団体と相談の上、スケジュールを組んでいきますが、感染症予防も含めた準備等の兼ね合いもありますので10時より前のスタート予定はご遠慮願います。

尚、活動内容の詳細につきましては、事前に予約団体と相談して決定となります。